

吾れ憧れし

(昭和三十三年寮歌)

佐伯政英君 作歌
佐藤一正君 作曲

三

一
吾^われ憧^{あこが}れし美^{はる}の国^{くに}の
春^{はる}は名^なのみの春^{はる}なれど
雪^{ゆき}解^げの水^{みづ}に甦^{よみがえ}る
野^の面^{づら}に充^みち満^みつ生^{いのち}命^ちあり

二

遠^{とお}くふるさと離^{はな}れ来^こし
寮^{きよう}友^{とも}と睦^{むつみ}の杯^{つぎ}酌^{しやく}めば
今^{きよう}日も手^て稻^い山^ねに夕^{ゆう}映^はえて
鐘^{しょう}声^{せい}はろかに快^{こころ}よし

四

三
楡^{にれ}の木^こ蔭^{かげ}に憩^{いこい}せば
紫^し紺^{こん}の峰^{みね}をこえゆきて
父^{ちち}母^{はは}いかに君^{きみ}いかに
つきるを知らぬ吾^わが懐^{おも}い
ただ茫^{ぼう}漠^{ばく}の太^{たい}平^{へい}野^や
静^{しじま}寂^{よく}の夜^{よる}は更^ふけゆきて
囿^{かこ}む焚^{たき}火^びも暗^{やみ}に消^きえ
夜^よ空^{ぞら}彩^{いろど}る北^{ほく}斗^と星^{せい}